

伊丹市地域学校協働活動【土曜学習】



土曜学習とは

校区コーディネーターのリーダーシップのもと、市内全小中学校において、土曜日に自主学習やキャリア教育を実施し、地域とともに教育環境の充実を目指す。

ねらい

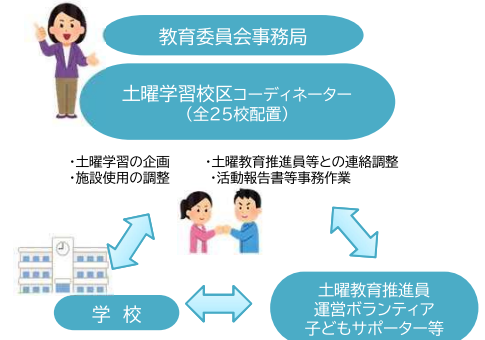
①基礎学力の向上、②学習習慣の定着、③豊かな人間性の育成

実施回数

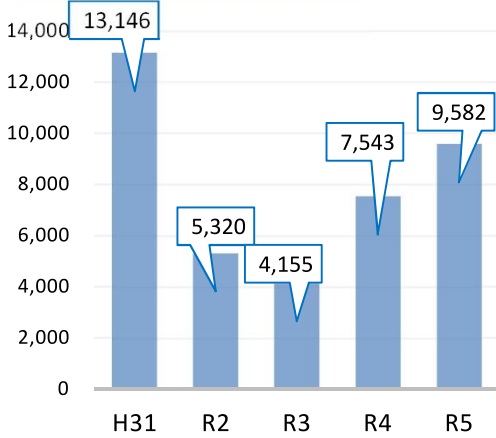
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施制限あり

年度	H31	R2※	R3※	R4※	R5
回数	352	183	132	289	309

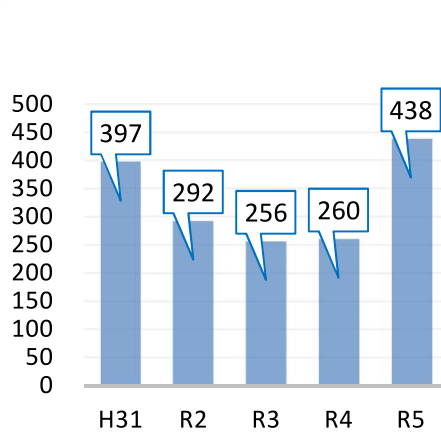
仕組み



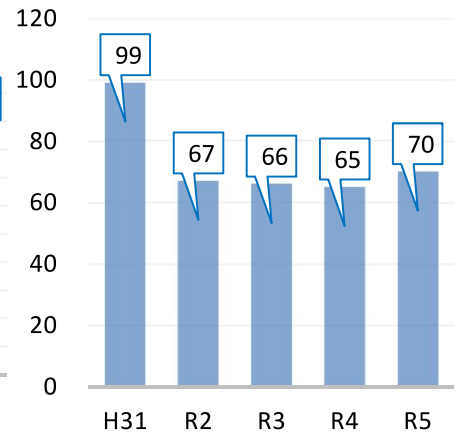
土曜学習参加児童・生徒数



運営ボランティア数



土曜教育推進員



活動の様子

◎地域人材、大学生・高校生・中学生ボランティアの積極的な参加

①土曜教育推進員による学習指導 (地域人材)



②お金の学習 (地域人材)



③理科実験教室 (地域人材)



④子どもサポーターによる指導 (教員志望の大学生)



⑤高校生によるサポート (高校生ボランティア)



⑥小中連携 (中学生ボランティア)



⑦理科実験教室 (学校関係者)



成果と課題

- 新型コロナウイルス感染症が5類に移行し対面での学びに移行した。
- 公共施設等と地域人材の連携で、学校間や施設とZoomで繋いだオンライン学習を継続した。その結果、参加校が増加し他校と交流も充実した。
- 校区コーディネーターを中心に運営ボランティア等の積極的な協力により、地域と共に教育環境の充実を図ることができた。
- 地域の行事と連携したプログラムで3世代間交流の場となった。
- 夏休み、市内児童を対象にした拡大土曜学習の実施により学びの機会を増やした。
- 参加児童・生徒数は復調傾向だが、新型コロナウイルス感染症の長期化でコロナ禍前の水準には戻っていない。

◎市内の社会教育施設や企業等の協力により、子どもたちに幅広い学習機会を提供

①観望会 (子ども文化科学館)



②昆虫講座 (昆虫館学芸員)



③南極クラス (ミサワホーム)



④ドローン体験 (NPOあすの夢土木)



⑤紙漕ぎ (再生紙促進センター)



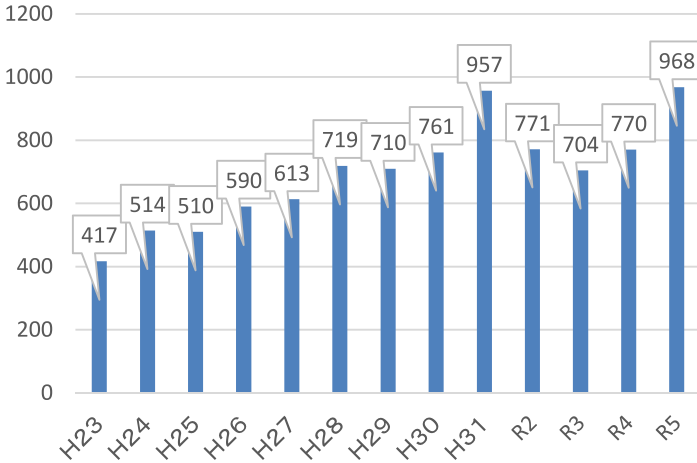
伊丹市地域学校協働活動【学校支援】



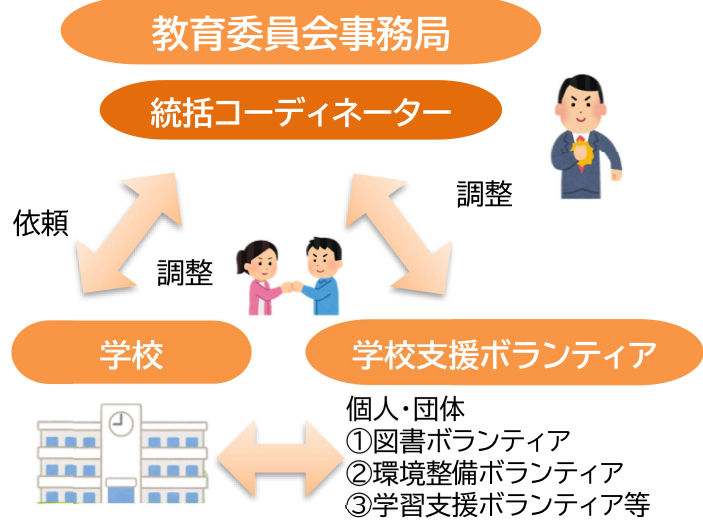
学校支援ボランティアとは

本市では、平成20年度より学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えることを目的として、学校支援ボランティア活動を実施している。
 小学校・中学校で読み聞かせや本の修理などの学校図書館活動、学校花壇・植栽の手入れ等環境整備、授業補助等の学習支援を行っている。

ボランティア登録者数



仕組み



活動の様子

図書ボランティア



環境整備・学習支援ボランティア



ボランティア養成講座

学校支援ボランティアの資質の向上を目指し、実施している。

【図書】「図書ボランティアの今・絵本の読み聞かせ」交流会

【園芸】「土壌改良編・花壇のデザインおよび花苗植栽」講習会

交流会



絵本の読み聞かせ練習



花壇は土づくりが一番大切！



花の配置を考えて植えます